



エキゾチックペットとその問題

エキゾチックペットとは犬や猫・家畜や家禽以外の、本来野生にいた動物をペットにしたものです。珍しさや見た目の美しさから、日本では特に需要が高く、それだけ数も種類も豊富に希少な野生動物が取引されています。ペットショップやペットフェアではヘビ・トカゲ・カメなどの爬虫類、ハリネズミ・スローリスなどの哺乳類、フクロウ・インコなどの鳥類が人気です。またフクロウカフェや爬虫類カフェなど、様々なペットカフェもあります。生息地からどのように連れてこられ、取引、管理されているか知らずに買ったり利用する場合があります。

エキゾチックペットの問題とその背景を取り上げます。



筒に詰められ、密輸されたフクロウなどの鳥 (ヒューストン動物園)

1. 動物由来感染症

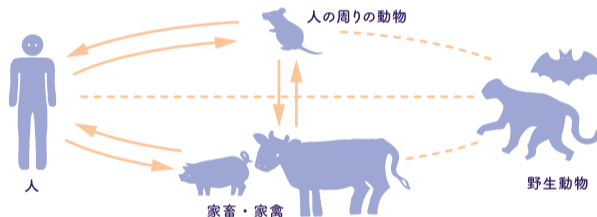
動物由来感染症とは動物と人間の間で感染する感染症の総称で、zoonosis ズーノシス とも言われます。全ての感染症の約半分がこれにあたり、200種類以上あります。私たちが今直面している新型コロナウイルスも動物由来感染症で、元の宿主コウモリからいくつかの動物を媒介して人間に感染したと言われています。

ズーノシスの例

- ・インフルエンザ・SARS・結核・日本脳炎・マラリア
- ・デング熱・エボラ出血熱・HIV・ペスト・狂犬病
- ・エキノコックス症・サルモネラ症・トキソプラズマ症 など

世界では過去50年、新しい動物由来感染症が次々に見つかっています(毎年3~4種類)。その背景には、人間と野生動物の距離が近くなってしまったという原因があります。

野生動物の生息地の自然を破壊したことにより、人間と野生動物の接触は増加しました。また、餌を求めて近づいてきた野生動物と家畜が接触したり、同じ場所の川の水を飲んだりすると、家畜を介して感染症が伝播します。さらに、ペット需要の無規制な取引もこの一因となっています。



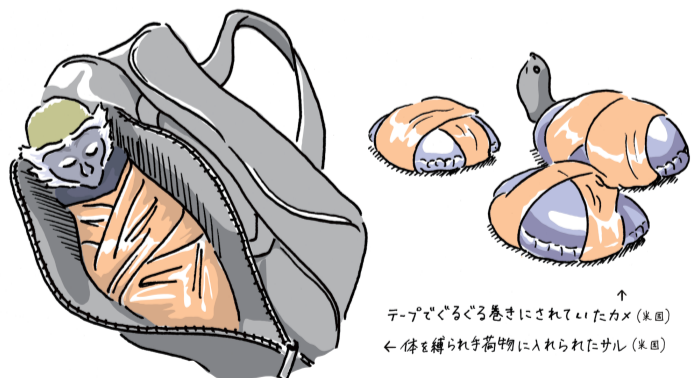
2. 動物福祉

家庭やカフェなど本来の自然環境とは全く異なる環境で飼育され、精神的ダメージや肉体的なストレスが生じる場合があります。また、飼育方法がよく分かっていない種もいます。診てくれる動物病院が少ないのも問題です。

3. 絶滅危惧種

エキゾチックペットとして持ち出される野生動物の中には、絶滅のおそれがある動物も多くいます。国内ではペット取引にほとんど規制はなく、流通経路は不透明のまま取引され、野生の個体数を減少させる大きな要因となっています。

4. 密輸・違法取引



↑ テープでぐるぐる巻きにされていたカメ(※①)
← 体を縛られ手荷物に入れられたサル(※②)

5. 外来種

飼育されていた野生動物が逃げ出したり飼育放棄で自然に放たれると、元々の生態系を脅かしてしまう場合があります。

トラフィック TRAFFIC (野生動物の取引を調査・モニターする NGO) の報告 (2020.6) によると、2007年から2018年の間に、計1,161匹のエキゾチックペットが日本の税関で差し止められました。中には感染症で輸入禁止となっているサルやコウモリもありました。これは実際の密輸のほんの一部です。餌も水も与えられず、多くは過酷な輸送の途中で死んでしまいます。それでも少しでも生き残って売れば、利益をあげることができます。高額な国内取引は国際的なエキゾチックペットの闇取引の規模を大きくし、加速させています。密輸された個体でも、偽の出所の情報でも、購入者は見分けられません。

ます。それは外来種の中でも「侵略的外来種」と呼ばれ、生物多様性が失われる大きな要因となっています。農業・漁業被害も深刻です。日本で代表的なものはアライグマやマンダース、ヌートリア、カミツキガメなどです。

以前コツメカワウソがブームとなりました。TVで特集され、SNSで一気に広まりました。正規の取引では需要に間に合わず、原産国のカワウソを絶滅させかねないほど密猟・密輸

が増えましたが、飼いきれず結局手放す人も多くいました。^{※1} 野生動物は自然の中で生きる姿が、より魅力的で美しいです。私たちはこの需要についてよく考える必要があります。

『NATURE TALK』とは

私は岡山県に住む中学2年生です。昆虫や動物、山や海など自然が大好きです。時々新聞やニュースで自然破壊や野生動物の問題を見かけます。アフリカなどの遠い場所の話のようですが、それは私たちの暮らしや日々の選択と無関係ではありません。かわいそうな動物の写真に心を痛めながら、地球規模の気候変動に不安になりながら、知らないうちに実は自分もその悪循環に加担していることもあります。『知って 感じて 考えて 行動する』そのひとつのきっかけとなるようにこの新聞を発行します。

コツメカワウソのその後 ^{※1}

原産国フィリピンはワシントン条約 (CITES) の締結国会議で取引禁止を提言し、2019年採択され、附属書Iに掲載されました。日本国内での取引も禁止されています。
【附属書I: 取引禁止】【附属書II: 取引規制】
【附属書III: 保全のために国際的な協力を求める】

わたしたちにできること

- 本当に必要なかどうか考える ■ 自分たちの選択が自然環境や野生動物に与えている影響を知り、それを見直す ■ パブリック・コメントなどで行政、政治家に規制強化などの声を届ける ■ 共感してくれる仲間を増やす

もっと詳しく知りたい人は

- NATURE TALK
note.com/naturetalk
- 太田ゆかさん
南アフリカ政府公認の唯一の日本人女性サファリガイド。リアルタイムでサファリを案内してくれる「バーチャルサファリ」が人気! 茨城県で逃げ出したエキゾチックペット、ミナミジサイチョウのことも教えてください。
YouTube 『Yuka on Safari』
[yukaonsafari](https://www.youtube.com/channel/UCyukaonsafari)
- WWF [wwf.or.jp](https://www.wwf.or.jp)
- NATIONAL GEOGRAPHIC
natgeo.nikkeibp.co.jp
- WILDLIFE ACTION
[love_yourlife_wildlife_](https://www.instagram.com/love_yourlife_wildlife_)
[animal_me](https://www.instagram.com/animal_me)



『寄附して、知って、まもるプロジェクト』ははじめた絶滅の危機に瀕した野生動物のカードなどを販売し、利益の半分をその野生動物を保護している団体に寄附します。また、その動物の危機状況を広めることも目的としています。



⇒ 次回は『トラの現状と増殖計画①』

発行者: 沖 メイ子 naturetalk2021@gmail.com

参考: TIGER MOV 第二回! WWF と考える「ポスト・コロナ時代に求められる人と自然の関わり方」、TRAFFIC『CROSSING THE RED LINE』(2020.6)、WWF『エキゾチックペット』の問題、経済産業省『ワシントン条約について』、厚生労働省『動物由来感染症』